



「第4回 コウノトリ未来・国際かいぎ」参加者募集 ～国際生物多様性年 未来に向けて豊岡から世界へ発信～

世界的にも稀な、「コウノトリ野生復帰」の取組みの中で掘り下げられてきた、さまざまな分野での課題を検証し、世界に提案できる新たな社会システムとして紡ぐことをテーマとした「第4回コウノトリ未来・国際かいぎ」の参加者を募集します。

1. 「第4回 コウノトリ未来・国際かいぎ」概要

(1) 日 時 平成22年10月30日(土)～31日(日)

(2) 場 所 豊岡市民会館

(3) 内 容
テーマ

野生復帰がもたらすもの～コウノトリが紡ぐ いのち、地域、経済、文化～

10月30日(土)		10月31日(日)	
コウノトリ分科会 (じばさん TAJIMA) 他の分科会は 先行開催済	市内エクスカーション	9:00	全体会 基調講演 各分科会からの報告
		9:30	
休憩		12:00	休憩
受付		12:20	
全体会 開会セレモニー 経過報告 基調講演 1日目の総括		13:00	全体会 総合討論 コウノトリ宣言の採択
		13:10	
		15:10	
		16:30	
		18:00	講演者等の詳細は、別添パンフレット参照
市民交流会		20:00	

(4) 生物多様性条約第10回締約国会議(CBD/COP10)との連携

第4回 コウノトリ未来・国際かいぎを名古屋市で開催されるCBD/COP10に連続した期間に開催することとし、国内外からのCOP10参加者を同かいぎに誘導する。

海外に向けた告知 (市英語ホームページでの告知、国際機関メーリングリストへの登録)

COP10関連イベントでの告知

名古屋～豊岡等のバス運行を計画する。

CBD = Convention on Biological Diversity (生物多様性条約)

COP = Conference of the Parties (締約国会議)

(5) 主 催 兵庫県、豊岡市



(6) 共 催 コウノトリ野生復帰推進連絡協議会

(7) 主 管 第4回 コウノトリ未来・国際かいぎ実行委員会

2. 参加者募集概要

(1) 募集人数 1,000人(先着順)

(2) 参加費 無料(ただし、エクスカーション・市民交流会・昼食代などは実費)

(3) 募集期間 平成22年8月16日(月)～9月24日(金)

(4) 申込方法

申込書に必要事項を記入の上、(宿泊を伴わない会議のみの参加だけでも)㈱スカイウェイ豊岡営業所へ、郵送・FAXまたはE-mailで申し込む。

申込書は、市コウノトリ共生課及び各総合支所の窓口から8月13日から備え付ける。市ホームページからもダウンロード可能。

(5) 申込み先

株式会社 スカイウェイ本社豊岡営業所

〒668-0024 兵庫県豊岡市寿町4-1

TEL 0796-29-0203 FAX 0796-29-0211

E-mail skyway-t@vc.inaker.or.jp

営業時間 月～土曜日 10:00～18:00(日曜日・祝日休業)

《参考》

事前分科会の実施状況

(1) 環境経済分科会(一部開催済み)

『生きものの多様性の保全と事業活動セミナー』(主催 豊岡市・三井住友銀行)

場 所 S M B C パーク栄(名古屋市)

コーディネーター 涌井史郎(東京都市大学・中部大学教授など)

内 容

区分	月日	テーマ	参加者数
第1回	4/26(月)	基調講演・報告等	約100人
第2回	5/14(金)	生物多様性保全と建設業	約70人
第3回	6/11(金)	生物多様性保全と流通・食品製造業	約70人
第4回	6/25(金)	生物多様性保全と食品製造業	約70人
第5回	8/6(金)	生物多様性保全と観光業	

(2) 環境創造型農業分科会(開催済み)

『第1回生物の多様性を育む農業国際会議(ICEBA2010)』(主催 同実行委員会)

日 時 7月2日(金)～4日(日)

場 所 豊岡市民会館・じばさんT A J I M A ほか

コーディネーター 保田 茂(兵庫県農漁村社会研究所代表)

内 容

現地調査会

本会議・分科会(「有機農業と生物多様性に関する技術問題」「生物多様性農



業と生きもの調査」「生物多様性農業を支えるむら・ひと・仕事の再生」)

総合討論・共同宣言

参加人数 延べ411人(韓国・中国・ドイツ・日本)

(3) 子ども・未来分科会

『世界一 田めになる学校 in 東京大学』

(主催 宮城県大崎市、新潟県佐渡市、豊岡市)

日時 8月9日(月)午後

場所 東京大学弥生講堂・一条ホール

コーディネーター 岩淵成紀(NPO法人田んぼ理事長)

内容

マガン(大崎)・トキ(佐渡)・コウノトリ(豊岡)と共に生きる3市の子どもたちが、その取組みの柱となる“田んぼ”をテーマに、「田んぼの未来」と「自分たちの未来」を考える。

(4) コウノトリ分科会

『コウノトリ野生復帰の現状と未来(名称未定)』(主催 県立コウノトリの郷公園)

日時 10月30日(土)午前

場所 じばさんTAIMA

コーディネーター 大迫義人(コウノトリの郷公園研究部長心得)

〔問合せ〕豊岡市コウノトリ共生部コウノトリ共生課 0796-21-9017